

2008-08-18(月)

■隠岐で考えたこと(1)

夏休みに島根県の隠岐に行ってきました。

離島に行くのは初めて！

行ってみると、予想以上に大きな島でした。

一番大きな島後という島は、周囲が 150km もあり、

隠岐諸島全体の人口は 2 万人を越えています。

高校も全体で 3 つあるそうです。

観光タクシーで島後を案内してもらおうと、体育館あり、集会場あり、

島の中にいるという感覚がなくなります。

島後の中で、1 つの経済が成り立っているように思いました。

水田もたくさんありました。

夕食時に、ご飯は島のお米を使っているのか聞いて見ると、

「たぶんそうだと思う」との答え。

島にないものは、フェリーで運んでくるしかありません。

よそからお米を運ぶと、よぶんな燃料代がかかってしまいます。

だから、島でとれたお米を島で食べる「地産地消」が一番合理的です。

「周囲を海に囲まれた島」、「ガソリンなどは全部船で運んでこなくてはならない」

— 島の話を知っているうちに、日本全体の話となんとなく似ていると思ったのです。

(赤い 12 番)